

2024年3月29日

## アラブ首長国連邦・アブダビでのごみ焼却発電プロジェクト コンセッション契約を締結 ～ 日立造船グループなど、プラントの建設・保守・運転・売電 ～

日立造船株式会社の100%子会社でごみ焼却発電プラントなどの設計、建設、運営、保守を手がけるHitachi Zosen Inova AG（スイス、以下、HZI）は、丸紅株式会社（以下、丸紅）および株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（以下、JOIN）と共に参画しているアラブ首長国連邦（以下、UAE）アブダビ首長国でのごみ焼却発電プラントのプロジェクト（以下、本プロジェクト）に関して、このほど、Emirates Water and Electricity Company（エミレーツ水電力公社、以下、EWEC）およびTadweer Group（アブダビ廃棄物処理公社、以下、Tadweer）との間で、本プロジェクトのコンセッション契約を締結しました。



アブダビ首長国で建設予定のごみ焼却発電プラント（完成イメージ）

本プロジェクトでHZI、丸紅、JOINは、アブダビ首長国政府傘下のTadweerと共同で設立・出資する特別目的会社（SPC）を通じ、ごみ焼却発電プラント（処理能力：一般廃棄物年間90万トン、発電能力80MW）の建設、完成後30年間にわたる運営、保守を行うとともに、EWECに対して電力を販売する計画です。

本プロジェクトによって、埋立処理では大気中に放出されるメタンガス発生を抑え、年間110万トン相当のCO2削減効果が見込まれています。

世界最大級のプラントをHZIが現在建設中のドバイを始め、中東での本格的なごみ焼却発電の導入が始まっており、アブダビ首長国では今回が初のごみ焼却発電プロジェクトとなります。

当社グループは、ごみ焼却発電プラントにおける世界のリーディングカンパニーとして、今後も中東を含む各地の需要に応え、衛生的なごみ処理や持続可能な社会の実現にグローバルに貢献してまいります。

なお、本プロジェクトおよび関係会社の概要は以下のとおりです。

#### <ごみ焼却発電プラント>

1. コンソーシアム：HZI、丸紅、JOIN
2. 建設地：アラブ首長国連邦アブダビ首長国
3. 設備能力：一般廃棄物処理量＝90万トン／年、発電容量＝80MW
4. 売電先／売電期間：EWEC／30年間
5. 運転開始時期：2027年（予定）

#### <関係各社>

##### ◆Emirates Water and Electricity Company（エミレーツ水電力公社）

1. 所在地：アラブ首長国連邦アブダビ首長国
2. 設立：2018年
3. 代表者：Othman Al Ali
4. 事業内容：アブダビ首長国および北部首長国における発電・造水事業の計画および運営

##### ◆Tadweer Group（アブダビ廃棄物処理公社）

1. 所在地：アラブ首長国連邦アブダビ首長国
2. 設立：2008年
3. 代表者：Ali Al Dhaheri
4. 事業内容：アブダビ首長国の廃棄物事業の管理および運営

##### ◆丸紅株式会社

1. 所在地：東京都千代田区大手町一丁目4番2号
2. 設立：1858年
3. 代表者：代表取締役社長 柿木 真澄
4. 事業内容：輸出入（外国間取引を含む）及び国内取引の他、各種サービス業務、内外事業投資や資源開発等の事業活動

##### ◆株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）

1. 所在地：東京都千代田区
2. 設立：2014年
3. 代表者：代表取締役社長 武貞 達彦
4. 事業内容：海外での交通・都市開発事業に対する本邦企業の参画を出資等により支援

（終）